



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内山 元雄
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)梶谷 誠 (TEL)03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,982	2.4	193	△1.2	315	13.4	250	8.5
29年3月期第1四半期	4,867	△0.5	195	△38.7	277	△37.5	230	△36.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 269百万円(52.5%) 29年3月期第1四半期 176百万円(△55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.50	—
29年3月期第1四半期	6.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	31,259	11,631	37.2
29年3月期	32,574	11,562	35.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,631百万円 29年3月期 11,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	△5.2	850	4.2	1,230	6.3	940	1.1	28.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	34,294,400株	29年3月期	34,294,400株
30年3月期1Q	958,026株	29年3月期	957,731株
30年3月期1Q	33,336,478株	29年3月期1Q	33,337,986株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月～6月)におけるわが国経済は、海外に一部不透明感が残るものの、企業業績は幅広い業種で改善傾向が見られ、個人消費も雇用回復により穏やかながら持ち直しのきざしが出てきています。

我が国の土木・建設業界は、人手不足による工事の着工・進捗の遅延傾向が続くものの、首都圏の大型再開発案件を中心に堅調に推移しています。

この様な環境の中、当社グループは、新中期経営計画「成長への新機軸の創造」は2年目となり、引き続き賃貸重視の方針継続、安全対策の推進、M&Aを含めた新規戦略投資を中心とした基本戦略に沿って収益基盤の強化を図っております。海外のタイ国では、公共建設投資を中心に大型プロジェクト案件が本格的に動き出しており、タイ丸建(株)は重仮設鋼材の追加購入を行うなどの対応をとりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、単体の売上増により49億82百万円(前年同期比1億14百万円、2.4%増)と増収になりましたが、営業利益は、賃貸利益減などにより1億93百万円(同2百万円、1.2%減)と前年並みになりました。また、タイ丸建(株)など持分法による投資利益の増により、経常利益は3億15百万円(同37百万円、13.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億50百万円(同19百万円、8.5%増)と、共に増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

首都圏を中心に販売量・賃貸稼働量が増加したため、売上高は38億53百万円(前年同期比83百万円、2.2%増)となりましたが、賃貸利益の減によりセグメント利益は3億10百万円(同17百万円、5.3%減)となりました。

②重仮設工事業

首都圏の大口工事案件が順調に進捗したため、売上高は6億25百万円(同43百万円、7.4%増)となりましたが、利益率が低下したため、セグメント利益は3百万円(同0百万円、7.7%減)と前年並みとなりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

売上高は5億3百万円(同16百万円、3.2%減)と微減となりましたが、追加契約の工事利益増によりセグメント利益は57百万円(同30百万円、112.2%増)となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金の減少額9億11百万円や建設機材の減少額3億40百万円などにより、前期末比13億15百万円減の312億59百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少額17億90百万円と電子記録債務の増加額7億53百万円などにより、前期末比13億84百万円減の196億27百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益2億50百万円の計上による増加と配当金2億円の支払による減少などにより、差引前期末比69百万円増の116億31百万円となり、自己資本比率は1.7ポイント増の37.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は期初予想通り進捗しており、現時点において、平成29年5月15日公表の平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,933	1,246
受取手形及び売掛金	7,797	6,886
電子記録債権	1,739	2,141
建設機材	8,932	8,591
商品	34	96
材料貯蔵品	250	250
未成工事支出金	64	74
その他	259	264
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	20,978	19,520
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,027	8,027
その他(純額)	1,036	1,095
有形固定資産合計	9,063	9,122
無形固定資産	10	10
投資その他の資産		
その他	2,570	2,626
貸倒引当金	△49	△20
投資その他の資産合計	2,521	2,605
固定資産合計	11,595	11,738
資産合計	32,574	31,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,408	5,618
電子記録債務	430	1,184
短期借入金	3,800	3,800
1年内返済予定の長期借入金	2,150	1,910
未払法人税等	141	66
引当金	132	38
その他	1,734	1,719
流動負債合計	15,798	14,336
固定負債		
長期借入金	4,110	4,160
退職給付に係る負債	27	25
引当金	24	24
その他	1,052	1,081
固定負債合計	5,214	5,291
負債合計	21,012	19,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	6,022	6,072
自己株式	△135	△135
株主資本合計	9,462	9,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203	217
土地再評価差額金	1,975	1,975
為替換算調整勘定	△82	△78
退職給付に係る調整累計額	2	4
その他の包括利益累計額合計	2,099	2,118
純資産合計	11,562	11,631
負債純資産合計	32,574	31,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,867	4,982
売上原価	4,151	4,237
売上総利益	716	744
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	289	309
福利厚生費	54	56
地代家賃	43	43
退職給付費用	6	6
その他	127	134
販売費及び一般管理費合計	521	551
営業利益	195	193
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	14
持分法による投資利益	79	107
貸倒引当金戻入額	2	2
その他	11	12
営業外収益合計	102	137
営業外費用		
支払利息	14	13
その他	4	1
営業外費用合計	19	15
経常利益	277	315
税金等調整前四半期純利益	277	315
法人税、住民税及び事業税	57	55
法人税等調整額	△9	9
法人税等合計	47	64
四半期純利益	230	250
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	250

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	230	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	13
退職給付に係る調整額	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	4
その他の包括利益合計	△54	18
四半期包括利益	176	269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176	269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,765	582	519	4,867	—	4,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	△4	—
計	3,769	582	519	4,872	△4	4,867
セグメント利益	327	4	26	358	△163	195

(注) 1 セグメント利益の調整額△163百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,853	625	503	4,982	—	4,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,853	625	503	4,982	—	4,982
セグメント利益	310	3	57	371	△178	193

(注) 1 セグメント利益の調整額△178百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。